

じょうさいのだいいちにち、すなわちすぎこしのこじつじをほふるひ、でしたちがイエスに「すぎこしのしょくじをなさるのに、どこへ行ってよいいたしましょうか」といった。そこで、イエスはつぎのようにいって、ふたりのでしをつかいにだされた。「みやこへいきなさい。するとみずがめをはこんでいるおとこにであう。そのひとについていきなさい。そのひとがは行っていくいえのしゅじにはこういいなさい。「せんせいが、でしたちといっしょにすぎこしのしょくじをするわたしのへやはどこか」といっています。」するとせきがととのってよいできた2かいのひろまをみせてくれるから、そこにわたしたちのためにじゅんびをしておきなさい。」でしたちはでかけてみやこにいってみるとイエスがいったとおりだったので、すぎこしのしょくじをじゅんびした。いちどうがしょくじをしているとき、イエスはパンをとり、さんびのいのりをとなえて、それをさき、でしたちにあたえていわれた。「とりなさい。これはわたしのからだである。」また、さかずきをとり、かんしゃのいのりをとなえて、かれらにおわたしになった。かれらはみなそのさかずきからのんだ。そして、イエスはいわれた。「これは、おおくのひとのためにながされるわたしのち、けいやくのちである。はっきりいっておく。かみのくにであらたにのむそのひまで、ぶどうのみからつくったものをのむことはもうけっしてあるまい。」いちどうはさんびのうたをうたってから、オリーブやまにでかけた。

イエスさまはさいごのすぎこしのしょくじ（エジプトのどれいからすくいだされたきねんのしょくじ、すなわちすぎこしのしょくじでした。）がちかづいてきたので12にんのでしたちといっしょにいたときに、イエスさまはパンをとっておっしゃいました「これをとってたべなさい、これはあなたたちのためにわたされる、わたしのからだです」それからぶどうしゅのはいったさかずきをとりおっしゃいました「みな、これをうけてのみなさい、これは、わたしたちのさかずき、あなたがたとおおくのひとのためにながされて、つみのゆるしとなる、あたらしいえいえいのけいやくのちです。これをきねんとしておこないなさい。」

イエスさまはわたしたちといつもおられるようにパンとぶどうしゅのかたちで、わたしたちと一つになってくださいます。わたしたちはイエスさまがおっしゃったように、いまもこのあたらしいすぎこしのきねんのしょくじ、すなわちミサせいさいをおこなっています。わたしたちはなによりたいせつにしていきたいものですね。イエスさまはわたしたちといっしょにいたい、それだめにみえるかたちでごせいたいをのこしてくださいました。

きょうかいには行っていくと、さいだんのよこのおくに、ごせいたいのでイエスさまのおすまいがあります。「せいひつ」といいます。すぐそばにあかいランプあって、イエスさまがおられることをおしえています。きょうかいのまえをもしとおりにかかったら、なかへは行ってたしかめたら

いいですよ。そして「せいひつ」のなかにおられるイエスさまとおはなししましょう。

しんぷさまは、ごせいたいのイエスさまを、ときどきはこぼれ、びょうきのひとのところにだか  
けていかれます。イエスさまがびょうきのひとをおみまいしてくださいます。

きょうはごせいたいのしゆくじつで、ひとつのはなしをおもいだしています、つづけてよんでね。  
ごせいたいのためにころされた(じゅんきょうしゃ)タルチシオというこどものおはなしです。  
イスラエルのくにからイエスさまのおしえのたねはパウロによってローマにはこぼれました。  
イエスさまをしんじるひとはドンドンひろがっていきました。しかしそのおしえにはんたいす  
るひともいました、そのうえ、ローマこうていはじぶんをかみさまというようになりました。じ  
ぶんをかみとしておがむようにめいれいしたので、ほんとうのかみさまだけをおがむキリスト  
しんじゃたちは、ひどくいじめられるようになりました。

タルチシオはまいにちごミサにあずかってじしゃをしていました。あるひ、しんぷさまにたのま  
れてごせいたいをびょうにんのところにはこぶことになりました。しんぷさまがもっていくと、  
みつかってころされてしまうから。タルチシオは「ごせいたいをむねにたいせつにしまいこんで  
でかけました。だれにもあわないようにとおもってとうまわりしながらあるいていたのに、いた  
ずらのこどもたちにつかかってしました。

そして「なにをたいせつにもっているのか」ときかれましたが、タルチシオは、いそいでとお  
りすぎようとしてしました。そのときかれらはタリチシオがだいじにしている、はなさないの  
で、ぼうでなぐったり、いしをなげたりして、うばいとうろうとしました。タルチシオはど  
んなになぐられても、いしをなげつけられても、はなしませんでした。そのとき、イエス  
さまをしんじていたひとりのへいしがとおるかかったので、いたずらっこたちは、にげ  
ました。タルチシオはよわっていましたが、へいしにびょうにんのためのごせいたいの  
ことをはなして、いきをひきとりました。そのへいしは、タルチシオを、ちかのかくれ  
ばしょ「カタコンブ」にはこんで、そこでほうむりました。

このはなしをよんでどうおもいましたか。またきかせてね。イエスさまのことをおもいだして  
のりましょうね。

ぬりえ

